

令和8年9月定例会付議予定議案

招 集 日

令和8年9月25日(金)

議 案

14件

〔 予算(2)、条例(5)、工事請負契約の締結(1)、財産の取得(2)、
訴えの提起(1)、基本的な計画の策定等(1)、事件議決(2) 〕

【主な内容】

- ・ 令和8年度埼玉県一般会計補正予算(第3号)
- ・ 令和8年度埼玉県県営住宅事業特別会計補正予算(第1号)
- ・ 警察署の名称、位置及び管轄区域に関する条例の一部を改正する条例
- ・ 埼玉県5か年計画の策定、埼玉県防犯のまちづくり推進計画等の変更及び第3期埼玉県まち・ひと・しごと創生総合戦略の廃止について

報 告

25件

〔 専決処分報告(7)、公社等の経営状況報告(5)など 〕

一般会計補正予算(第3号)

一般会計 歳入歳出予算 **113億9,168万2千円**
(補正後累計 2兆4,564億6,583万3千円)

主要内容

- 高校教育改革に資する拠点整備 21億4,017万1千円
〔繰越明許費の設定 8,694万2千円〕
- 公共事業の追加 82億3,620万4千円
〔債務負担行為の設定 限度額 33億円〕
- 公共事業の適正工期の確保 〔繰越明許費の設定 133億3,057万円 〕

高校教育改革に資する拠点整備

1. 背景

国の「高校教育改革に関する基本方針」(R8.2)

- 生産年齢人口の減少や人材不足が進行
- AI・DXの進展に対応できる人材育成が必要

▶ 高校改革の方向性

- ・AIに代替されない能力や個性の伸長
- ・経済・社会の発展を支える人材育成

⇒ **県立熊谷工業高校**が、改革を先導する拠点として
国から採択(事業期間:3年間)

2. 目指す教育改革

新たな工業教育モデルを開発

→ **産業プロセス全体を理解**し、ICTを駆使して生産性向上や高付加価値化を担うことができる高度な実践的人材を育成

- ・5学科(建築・土木・電気・機械・情報技術)の横断的学習
- ・生産工程(設計→測定→制御→製造→解析→改善)を一体的に捉える学び
- ・企業、大学、地域との最先端の学び

3. 補正予算の内容

計 21億4,017万1千円

(1) 改革先導拠点の整備 1億2,062万5千円

(うち繰越明許費の設定 8,694万2千円)

ア 施設・機器等の整備

- ・施設改修、デジタル技術を活用した学習環境整備

イ 新しい工業教育モデルの開発

- ・高度な専門人材を育成するカリキュラム構築

(2) 基金への積立 20億1,954万6千円

【施設改修(イメージ)】

＜普通教室＞



＜企業・大学・地域との協働拠点＞



【機器整備(イメージ)】

＜土工機械シミュレータ＞



4. 今後のスケジュール

令和8年度

教育モデル開発着手

令和9年度

実証・改善

令和10年度

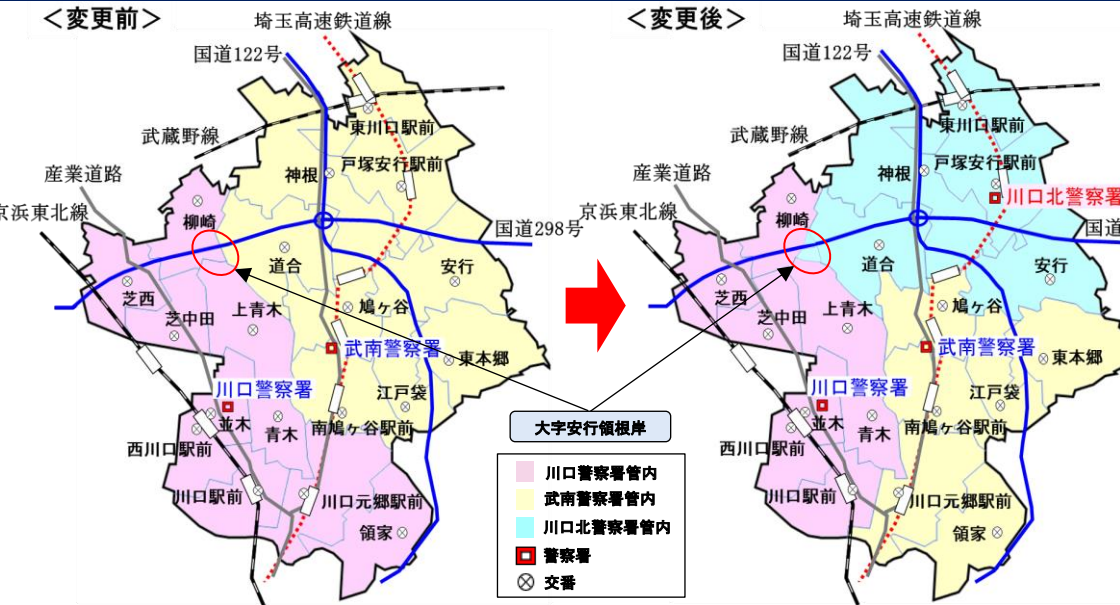
確立

警察署の名称、位置及び管轄区域に関する条例の一部を改正する条例

警察署の新設(令和9年3月1日開署予定)

- 名 称 川口北警察署
- 位 置 川口市(大字西立野365番地の1)
- 管轄区域 川口警察署及び武南警察署の管轄区域の一部

管轄区域の変更



《川口北警察署 イメージ図》

期待される効果

- 川口市内における警察活動の強化
 - ・ 現場臨場時間の短縮
 - ・ 各種検挙・警戒活動の向上
- 県民サービスの向上
 - ・ 受付窓口の分散化による混雑の解消

埼玉県5か年計画の策定について

【基本理念】

あらゆる人に居場所があり、活躍でき、安心して暮らせる

「日本一暮らしやすい埼玉」

時代の潮流

～2つの歴史的課題とデジタルの進展～

埼玉県の強み

基本姿勢

〔全ての施策を貫く
横断的な視点〕

- デジタルの活用
- 環境との調和
- 多様性の尊重と
平等の実現

3つの将来像	9の政策	51の分野別施策
安全で安心な社会	・災害や危機に強い体制を構築する ・暮らしの安全・安心を確保する ・健康で安心して生活できる社会をつくる	16施策
誰もが輝き、活力ある社会	・こどもまんなか社会を実現する ・誰もが自分らしく生き、活躍する社会をつくる ・暮らしやすく魅力あふれる地域社会をつくる	20施策
持続的に成長・発展する社会	・持続的で生産性の高い地域経済を実現する ・未来を見据えた社会基盤を創る ・豊かな自然と共生する社会を実現する	15施策

計画期間 令和9年度～13年度

令和8年度 アメリカ訪問の結果について



期 間

9月8日(火)～9月12日(土) 5日間 (米国インディアナ州)

目 的

日本・米国中西部会合同会議への出席及び県内企業の海外進出支援

1 日本・米国中西部会合同会議でのトップセールス

- 約500人の会議出席者に向け、本県の優れたビジネス環境をPR
- 首都圏に位置し、日本で第5位の人口と経済規模を誇ること、充実した交通インフラを強調し、観光・食文化の魅力も紹介
- 企業の流入超過数が日本一であり、選ばれる県であることをアピール
- 「渋沢MIX」、「SAITAMAロボティクスセンター(仮称)」などの拠点に加え、高い技術力を持ちグローバルニッチトップ企業となり得る企業が多数存在することを説明
- ☞ 会議出席者から、本県の経済力や立地の優位性などについて高い評価を受けた



令和8年度 アメリカ訪問の結果について



2 合同常任委員会での提言

- レアアースなどの調達をめぐる不確実性が高まる中、信頼性の高いサプライチェーン構築が求められており、米国中西部と日本は、産業構造や課題認識に共通点が多く、利益を共有していると提言
- 参加者の賛同を得て、共同宣言に「今後、AIの安全な利用や重要鉱物の代替調達を含めた安定確保に関し、継続的な情報交換の仕組みを検討すること」が盛り込まれた



3 米国各州要人との会談

- マイク・ブローン インディアナ州知事をはじめ、カンザス州副知事兼商務長官、オハイオ州開発局長、ミシガン州経済開発公社CEOなどの各州要人との会談を実施
- 「渋沢MIX」、「SAITAMAロボティクスセンター(仮称)」などを通じた具体的な連携方策について意見交換し、今後のWIN-WINな関係構築の足掛かりを築いた



令和8年度 アメリカ訪問の結果について



4 現地進出企業訪問

- 株式会社キャストック（加須市）の北米工場を訪問し、工場見学の後、意見交換を実施
- EV化による自動車関連産業への影響、米国での事業継続の機会や課題、海外展開に当たっての県の支援の在り方などについて、最新の情報を得るとともに、率直な意見を交わした



5 ものづくり企業の個別商談

- グローバルニッチトップ企業を目指す県内企業の個別商談に立ち会った
- 三芳合金工業株式会社（三芳町）は、コロンビア大学のシモンチェツリ准教授と核融合炉向け特殊銅合金の開発手法について協議した
- 株式会社キャストック（加須市）は、Proterial America, Ltd.と医療分野など新たな事業展開に向けた素材調達について協議した



アジア競技大会・アジアパラ競技大会 県ゆかりの選手が出場します

大会の概要

第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)

会期:令和8年9月19日～10月4日

競技数:43

第5回アジアパラ競技大会(2026/愛知・名古屋)

会期:令和8年10月18日～10月24日

競技数:18

県ゆかりの選手197名が出場予定※9月18日現在

アジア競技大会日本代表

34競技160名

アジアパラ競技大会代表

13競技37名

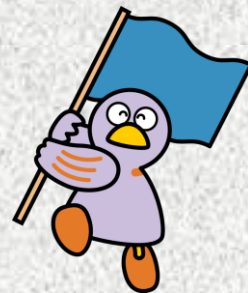
陸上競技	12
水泳	10
サッカー	14
テニス	3
ローイング	21
ホッケー	1
ボクシング	4
バレーボール	2
体操	1
バスケットボール	5
レスリング	5
ウエイトリフティング	3
ハンドボール	2

自転車競技	7
卓球	1
フェンシング	5
野球/ソフトボール	4
バドミントン	4
射撃	10
近代五種	7
ラグビー	3
カヌー・カヤック	8
武術太極拳	2
トライアスロン	1
ゴルフ	1
スカッシュ	4

テコンドー	2
ローラースポーツ /スケートボード	1
カバディ	8
セパタクロー	2
eスポーツ	3
コンバットスポーツ	2
パデル	1
テックボール	1



陸上競技	8
ボッチャ	2
自転車競技	1
ブラインドフットボール	1
ゴールボール	6
柔道	2
射撃	2
座位バレーボール	5
水泳	2
卓球	1
車いすバスケットボール	4
車いすラグビー	1
車いすテニス	2



※県ゆかりの選手: 本県出身者、県内中学校・高等学校・特別支援学校卒業者、県内団体所属者、(内定決定時)県内在住者

